FORZA 駒澤 選手紹介 PART3

深井正樹（４年・ＦＷ）

この選手の選手紹介を待ちわびた人も多いのでは？今回紹介するのは駒大で２年生から10番を背負い、そのドリブルで観客を魅了してきた深井正樹選手。自らを「無冠の帝王」と語る彼のサッカー人生とはどんなものだったのか。彼とサッカーとの出会いから現在までを聞いてきた。

現在のドリブルの原点は中学校時代

サッカーをはじめたきっかけは周りの友達がやっていたのと、２コ上の先輩に勧められたからです。野球とサッカーで迷ったんですけど。

ポジションはウィングとか攻撃的なポジションをやっていました。小学校の頃のプレースタイルは今とあまり変わりませんよ。ドリブルばっかり(笑)。背も小さい方でした。とにかくワンパクで運動会とか行事が大好きでした。練習はあまり好きじゃなくて、周りで普通に遊んでいる子がうらやましく見える時期もありましたね。でも学年があがるにつれてサッカーの魅力にとりつかれていきました。小学校の頃は読売ランドの全国大会に出場しました。でも出ただけで全然勝てなくて「全国は広いな」と実感しました。

ドリブルとかの技術は中学校で身に付いたと思います。中学は個の能力を伸ばしてくれるということで隣町のクラブチーム、ＦＣトラベッソに入りました。チームのカラーは「勝利より個を伸ばす」といった感じだったので練習も本当に自由でしたし、ポジションも中盤とかディフェンスとかやらされました。でも、どのポジションをやってもいつもドリブルしてました(笑)。コーチも僕の特長を磨こうと、ドリブルをしないでパスをすると怒ったりしましたね。今じゃ考えられませんけど。だから、中学校時代は本当にドリブル漬けの毎日でした。

滝二に負けたからこそ今の自分がある!!

高校へ進学するときジェフユースや習志野高、静岡学園高といった選択肢はあったんですが、結局は県内に絞ってトラベッソの先輩である東条公平さん（元湘南ベルマーレ）がいる韮崎高に行こうと決めました。１年の時は中学がクラブチームだったので上下関係がわからず、先輩を呼び捨てにしたり生意気な一年だったと思いますよ。１年の頃は試合には出ていましたが、インターハイの２回戦の秋田商業戦で途中出場で点を取ると「スーパーサブ」のレッテルを貼られて、それから途中出場ばっかりになりましたね。だから、２年までは監督によくくってかかっていましたね。「なんでスタメンで出れないんだ」って。クラブの「個を伸ばすサッカー」から「高校の組織サッカー」に慣れなくて自分がうまくなってないという焦りもあったんだと思います。

高校ではプロには何がなんでも行くって感じだったんですけど、東条さんがプロへこだわりすぎて失敗したのをみて「自分を必要としてくれるチームに行こう」と考えが変ました。だから勉強も頑張りましたね。東条さんがいなかったら自分も同じ事をしていたかもしれません。

３年で一番印象に残っているのはやはり選手権ですね。一回戦で滝川第二に負けたんですけど、あそこで負けたから今の自分があると思います。林丈統(ジェフ市原)というライバルもできたし、自分の実力も見直せましたから。林も何気に大学の試合を見に来てくれていて意識してくれているのは嬉しいですね。

「自分を必要としてくれている」と感じた

大学へ進学する際に、順大か駒大という選択肢がありました。はじめは韮崎の先輩である石原克哉さん(ヴァンフォーレ甲府)がいる順大にいこうとしたんですが、秋田監督が学校まで来てくれて話を聞いているうち「ここまで自分を必要としてくれているんだ」と感じて駒大へ進学することに決めました。駒大は決まるのが早いので選手権に集中できるというメリットもあったし。

セレクションの思い出は２次の面接の練習をホテルで新沼と小沢の３人で練習したことですね。「ノックして入って」とか、バカみたいに(笑)。１年の時は先輩に文句ばっジションをやってたせいもあるんですけど。内田潤さん(鹿島アントラーズ)とか普通にこわかったです。メンタルが弱かったので１日だけのオフを利用して実家に帰ったりしてました。リーグ戦ではマークが甘かったのもあって４得点３アシストと結果は残せました。でも、優勝は逃すわ個人タイトルを逃すわで散々でもありました。だから「無冠の帝王」ってことで(笑)。

今年はアシスト王＆得点王のダブル狙います

巻をはじめてみた時は外見が派手で「こいつとは友達にはなれないな」って思いました。でも、自然に仲良くなっていましたね。１年の時結果が残せたのもあいつのおかげだと思います。２年になると10番にもなったので頑張らなきゃというのはありましたが、エースというのは意識しないようにしていました。でも２年、３年となるにつれて周囲の期待が大きくなって苦しんだ時期はありました。最近は心に幅をもたすじゃないですけど、チームが勝てばいいかなって思います。

ユニバではいろいろなサッカーを知ることができてよかったです。でも、本大会では長い間準備してきたのに調子の良かった初戦でけがをしてしまって、その後は満足のいくプレーが出来なかったので優勝はあまり嬉しくなかったですね。

でも、ユニバとか経験できたのも駒大にきたからできたと思うし、本当に駒大に来てよかったと思います。今年はとにかくリーグ初優勝をしたいですね。今コンディションは維持できています。現時点ではアシスト王ですが、ひそかにダブル（アシスト＆得点王）も狙っています。

PROFIEL

●ふかい　まさき／1980年９月13日生まれ。161cm、60kg。増穂小－ＦＣトラベッソ(増穂中)－韮崎高。家族構成は父、母、姉２人。好きな選手は元アルゼンチン代表のＤ・マラドーナ

発行人　熊崎雅之
スタッフ　木ノ内隆
佐野晋作　岩田陽一
内田浩嗣　丹羽尊志
森田悠介　山口諒子
川勝　優　佐々木秀二
高橋　晃　永峰　綾
湯ノ口栄太

FORZA 駒澤は毎週金曜日に大学内で配布中！

＜情報＞

●巻、骨折…５月14日、巻誠一郎が肋骨にヒビが入っていることが判明。3週間前の桐蔭学園高校との練習試合で負ったもの。本人は気付かずにプレーしていた。次節・筑波大戦の出場は、最終的に監督の判断だが本人は出場の意思を見せている。

新沼泉から見た　深井正樹

深井は他のやつらと比べてもプレーの質が全然違いますね。副キャプテンとしては口で引っ張るというより、プレーでというタイプですね。本当に、試合では決めるとき決めてくれるので頼りになります。

次節は２位・筑波大学と対戦！

＜場所＞西が丘サッカー場
＜日程＞５月18日（土）　14:30

競技場へのアクセス

●都営三田線「本蓮沼」駅下車、徒歩８分。またはＪＲ「赤羽」駅西口よりバスで「西が丘競技場」下車、徒歩１分